

SOCIAL BONDS

丸井グループの「応援投資」

誰も置き去りにしない「インクルージョン」という考え方。丸井グループが大切にしてきた理念の一つです。金融サービスにおいても「信用はお客さまと共につくるもの」という創業の精神を守り、すべての人へのサービスの提供に取り組んできました。そんな丸井グループは、2022年、ブロックチェーン技術を活用した「応援投資」という新たな選択肢をお客さまに提供することができました。



丸井グループ「応援投資」公式サイト

投資という資産運用が低所得者への融資という社会貢献に

途上国の低所得者層向けマイクロファイナンスを展開する五常・アンド・カンパニー(株)。貧困層支援や教育問題など社会的課題の解決に取り組む企業に投資を募るクラウドクレジット(株)。丸井グループはその理念に共感し、両社に投資をしてきました。共創パートナーとしてさらなる協業の形を模索する中、立ち上げたのが「応援投資」プロジェクトでした。

同プロジェクトでは、丸井グループが社債(ソーシャルボンド)を発行し、それを個人投資家やエポスカード会員さまにご購入いただきます。今回、「丸井グループの社債」発行による資金調達としたのは、償還年限と利率があらかじめ定められており、ご購入者のリスクを回避できると考えたからです。

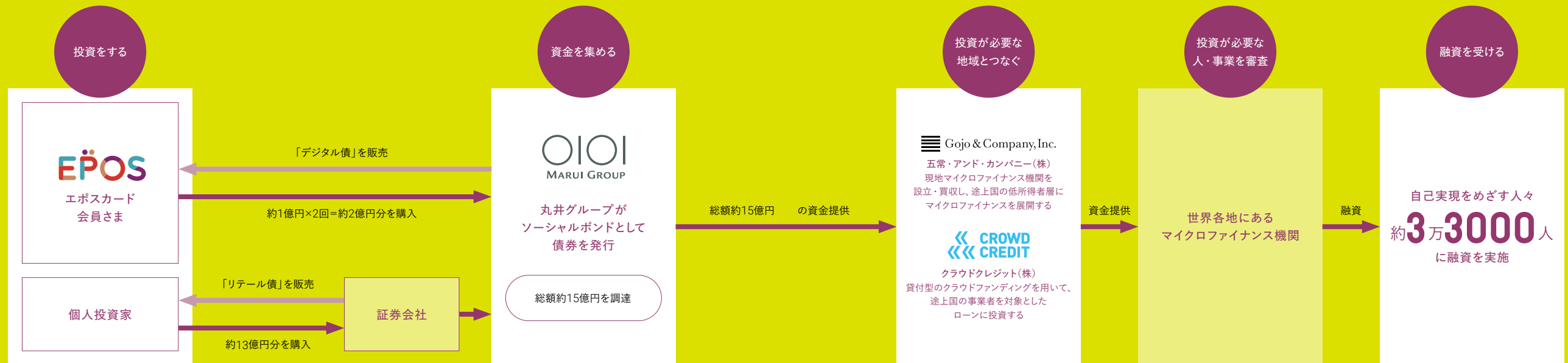
エポスカード会員さま向け社債では、証券会社が販売・顧客管理する従来の社債とは異なり、丸井グループが直接お客さまへ販売し、顧客管理を行います*。実施にあたっては

セキュリティトークンを採用。セキュリティトークンはブロックチェーン技術を活用したデジタル債です。「応援投資」では、Securitize社よりプラットフォームの提供を受けデジタル債を発行。ブロックチェーン技術を活用することで顧客管理も丸井グループで可能となったほか、資金の流れがトレースできるように、資金が確実に途上国の人たちに届くことを担保できるようになりました。

エポスカード会員さま向け社債はこれまで2回の募集で計約2億円、個人投資家向け社債は約13億円の発行額となり、資金総額は約15億円となりました。集めた資金は、途上国の約3万3000人の方々の手に渡り、今後の事業に活用されます。丸井グループでは、これからも「応援投資」の募集が継続的に行えるよう検討しています。

* 販売・顧客管理を直接行ったのは丸井グループが発行したデジタル債のみで、個人投資家向け社債は引受証券会社が販売・顧客管理を行いました

「応援投資」の資金が現地に届く仕組み



丸井グループ ソーシャルボンドフレームワーク



サステナビリティリスク セカンドパーティ・オピニオン